

平成28年9月21日
愛媛大学

愛媛大学図書館学術講演会を開催

「俳句と Haiku－英語になった俳句を通して英語、そして日本語を考える－」

愛媛大学図書館では、このたび、「俳句と Haiku」をテーマに、学術講演会を下記のとおり開催します。

「翻訳」からは、英語や日本語についての多くのことを学ぶことができます。“言語”のスペシャリストである、東京大学名誉教授の池上嘉彦氏をお招きし、英語になった俳句を通して英語、そして日本語を考えます。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。
なお、参加申込は既に締め切っております。

記

日 時：平成28年9月29日（木） 14時00分～15時30分

場 所：愛媛大学南加記念ホール（城北キャンパス正門入ってすぐ右側）

参加者：一般の方

参加人数：250人（予定）

駐車場：報道機関の方で、お車で取材に来られる場合は、正門守衛室で社名等をご記入の上、来客用駐車場を利用してください。

※送付資料2枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学図書館

総務チーム 近藤

TEL：089-927-8835

Mail：soumu@lib.ehime-u.ac.jp

芭蕉のよく知られた句、
「古池や蛙とびこむ水の音」を
英語に訳して紹介することになったとします。
例えば、「古池」を 'old pond' と
訳して大丈夫でしょうか。



英語訳を聞いたアメリカの学生は、
'So what?' とか
'What of it?' と反応するそうです。
どうすればよいでしょうか。



俳句と

Haiku 2016. 9. 29

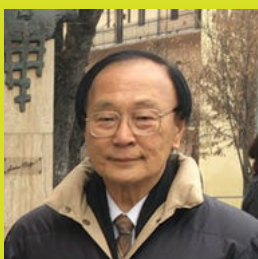
英語になった俳句を通して英語、そして日本語を考える

愛媛大学図書館学術講演会

平成 28年 9月 29日 (木) 14:00 ~ 15:30

会場：愛媛大学南加記念ホール (愛媛大学城北キャンパス内)

講師：池上嘉彦先生 (東京大学名誉教授)



池上 嘉彦(いけがみ・よしひこ)
1934年、京都市の生まれ。B.A., M.A.(東京大学)、M.Phil.,
Ph.D. (Yale University)。現在、東京大学名誉教授(言語情報科学)、日本認知言語学会名誉会長。インディアナ大学、ミュンヘン大学、ロンドン大学、ベルリン自由大学、北京日本学センターなどで客員教授。著書：『記号論への招待』、『「する」と「なる」の言語学』、『<英文法>を考える』など多数。



英語話者は日本語の「古池」という語と
同じイメージを心に描いてくれるでしょうか。
この句は昼の句、それとも夜の句？
「蛙」は単数でしょうか、複数でしょうか。



「翻訳」は私たちにずいぶん多くのことを
英語についても、日本語についても
教えてくれます。

● 事前申込制

入場無料

お名前とご連絡先(電話番号またはメールアドレス)
を下記までお知らせください。

締切…8月5日(金)

お申込・お問合せ

愛媛大学図書館事務課 総務チーム
(089) 927-8835 / soumu@lib.ehime-u.ac.jp

※定員に達した場合は受付を終了させていただくことがあります
※会場には駐車場がありませんので公共交通機関でお越しください

EU 愛媛大学図書館
Ehime University Library

城北キャンパス

